

【アトツギ甲子園での活躍を支援】

- 桑名商工会議所と一緒に
 - 事業承継
 - 広報戦略
 - 事業連携等
 - きっかけ
- 桑名商工会議所の後継者塾
1年半程前より
新たな取組として
古い木材の救出
活動を開始



【アトツギ甲子園（第3回）とは】



- 「アトツギ甲子園」は、後継者が家業を活かした新規事業アイデアを競い合うコンテスト。経済産業省所管の中小企業庁が主催。
- 早期の事業承継を進めるため、後継者の活躍を後押し、機運醸成を図ることを目的としており、今年で第3回目。

- 192名がエントリーし、1次書類審査で45名に
- 西日本・中日本・東日本の3ブロックで各15名の地方大会が行われ、各ブロックから5名が選出
- 決勝大会はファイナリストの15名で競う
- 審査項目
 - ①新規性
 - ②実現可能性
 - ③収益性（決勝大会では社会性）
 - ④承継予定の会社の経営資源の活用（倍評価）
 - ⑤熱量・ストーリー



桑名商工会議所、よろず支援拠点くわなサテライトの支援で 桑名市、地域金融機関、マスコミ関係者向け 「決勝大会進出発表会」を実施



「ファイナリストに選ばれたピッチのテーマ」

捨てられる木に新たな**命**を
吹き込み、

地域の大工へ「**tsunagu**」

【技術革新だけがイノベーションではない】

イノベーション＝新結合と唱えた人々



ヨーゼフ・アロイス・シュンペーター (1883-1950)

著書「経済発展の理論」



クレイトン・クリステンセン (1962-2020)

著書「イノベーションのジレンマ」

一見、関係なさそうな事柄を結びつける思考である。



スティーブ・ジョブズ (1955-2011)

アップル創業者

創造力とは、いろいろなものをつなぐ力だ。

【地域での新しいつながりが大切】

- 古材の救出は手段、新しい商流作りが目的
- 特別な技術は不要
- 必要なのはアトツギとしての覚悟
- 目指すのは、地域経済の活発な循環
(サーキュラーエコノミー)
- 地域における新結合が、小さなイノベーションを起こす
- 日本のそれぞれの地域で新結合が生まれれば、大きなイノベーションになる！

ご清聴ありがとうございました

よろず支援拠点くわなサテライト
(TEL)0594-24-1515
E-mail : ka-tatemichi@miesc.or.jp

9時～17時まで
原則2日前までに予約をお願いします
コーディネーター 立道 和久
(経済産業大臣登録中小企業診断士)

相談無料